

## 「笠郷地域創生自治町民会議」だより

各部会報告

笠郷地域創生自治町民会議会長 細川 一

令和4年度はコロナ禍でしたが、各部会では下記のように幅広く事業を行いました。

部会	事業名	令和4年度事業概要
総務	3世代交流ペタンク	育成会主催(6月)
	花壇コンクール	育成会主催(8月)
	公民館行事の代替事業	東部中学校へパソコンタブレットスタンドとAC電源コード類を全生徒数分寄贈し、令和5年度から配備して活用する(107万円)
		自治会館への避難時情報収集等に役立てるため55インチTV・レコーダ購入(23万円)
		自治会館への夏場の避難時用等のためスポットクーラー2台購入(24万円)
公民館研修室音響システムのCD・カセットデッキ部分の交換修繕(8万円)		
安全・安心	情報伝達訓練実施	令和4年7月31日(日)早朝実施(笠郷全地区参加)
	防災訓練実施	令和4年9月18日(日)午前実施、参加60名(地区役員、消防団、女性防火C、交通安全協)
	通学路防犯灯設置	下笠20カ所、大野4カ所、上之郷1カ所設置(既設電柱11カ所、新設電柱14カ所)、全98万円(内町補助金24万円)
	災害時用備品購入	堤防のり面漏水防止用シートの固定用ロープ(10m×5本、栗笠・船附上・船附下・大野防水倉庫用に配備)
	通学路危険マップ更新	子ども会育成会、笠郷小学校、笠郷中学校、警察からの危険マップ情報に各区自治会、各種団体からの情報を付け加えた各地区からの危険マップの情報を、1枚に書き込み中。
教育・文化・商工	食用ひょうたん栽培	笠郷地区約20名弱に栽培依頼(全90株)し、6月末から9月初旬までの間、週2回5cmの大きさになったひょうたん果実を食用漬物用原料として大垣養老高校へ納入。
	通学路危険マップ更新	上記に同じ
	スクールサポーター支援	下記に同じ
	笠郷ウォーキング	体育委員会等が作成した笠郷ウォーキング地図に従って、第1回ウォーキング大会を行った。(応募は笠郷自治会館へ応募用紙を郵送)
	各区史跡等資料集作成	下笠・栗笠・大野・上之郷について史跡集を作成する。現在、栗笠・大野・上之郷については完成し、下笠地区について8割程度完成。
環境・美化	ごみ収集所用看板設置	大型ごみ収集庫用ルール看板設置:2021年度は11カ所、2022年度は37カ所の金属ネットごみステーションに看板設置し、大型収集庫への設置は完了した。
	ごみアンケート実施	時々回収されなかったごみが放置されたままになっている(残余ごみの処理方法のルールが曖昧な地区が多い)。来年度もアンケート実施。
	笠郷地区クリーンの日	笠郷地区通学路クリーン活動実施:11月6日(日)8:00~ 大人児童合計して1200名以上の参加者。(参加予定者は全員参加者名簿に登録してもらう)
	スクールサポーター支援	・笠郷小学校FBC活動協力:FBC審査年にあたり、昨年・一昨年の経験を生かして、花壇土づくり、種まき、発芽、発芽苗育成、花壇レイアウト協力。 ・笠郷小学校校庭整備:グラウンド草刈り、雑木伐採協力
健康・福祉	3世代絵手紙交流	船附こども園、下笠保育園、各100枚の絵手紙を頂く。地域の高齢者、福祉施設(天音の里、柚子養老)に届ける。
	福祉推進員制度	養老町で、2年間笠郷地区をモデルケースとして7人体制でスタート 令和4年4月23日説明会、委嘱状配布、傷害保険加入、介護リーダー研修に参加 民生児童委員の補佐役として下笠・船附は2名、栗笠・大野・上之郷は1名
	敬老会代替事業	敬老会対象者全員に、養老町商工会商品券千円配布(約650名)
	緊急対応制度	命のバトン、緊急通報システム、避難時要支援登録者の把握
	健康増進活動	ラジオ体操への参加啓蒙(年配者、園児等の参加)、3世代交流ペタンク(公民館主催、社協主催)、笠郷ウォーキング(体育委員会主催)